

コンカー、デジタルインボイス普及促進に向け、 デジタルインボイス推進協議会の幹事法人に就任 ～取り組みの第一弾として世界のデジタルインボイス普及状況を解説～

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：橋本 祥生、以下 コンカー）は、デジタルインボイス推進協議会（以下、EIPA）の幹事法人に就任したことを発表します。更に、広報部会に所属し、デジタルインボイスの普及に向け、活動をしていきます。

EIPAとは、日本国内で活動する事業者が適格請求書（インボイス）を発行・受領する際に共通で利用できるデジタルインボイス・システムの構築を目指し、Peppol Authorityが進めるデジタルインボイスの標準仕様「Peppol（ペポル）」の策定について、民間の立場から支援、協力をしている団体です。2024年12月時点で173社、特別会員9名で構成されています。

コンカーは2023年より「Peppol（ペポル）」に対応*、2024年からEIPAに参画し、デジタルインボイスの普及に向けた活動を積極的に推進してきました。幹事法人および広報部会の一員としての取り組みの第一弾として、世界のデジタルインボイス普及状況を解説するブログ**を公開しています。

*：（プレスリリース）[コンカー、電子インボイスを実現する、請求書の国際標準規格「Peppol（ペポル）」への対応を発表](#)

**：（ブログ）[世界のデジタルインボイス普及状況を解説！EIPAが作成した「諸外国におけるデジタルインボイス（e-invoice）制度調査報告書」の要点](#)

コンカーは、今後もデジタルインボイスの普及を促進し、日本企業の業務改革、競争力強化に貢献します。

■デジタルインボイス推進協議会(EIPA)について

日本国内で活動する事業者が適格請求書等（消費税法（昭和63年法律第108号）における適格請求書および適格簡易請求書を指す。）を発行もしくは受領するにあたり共通的に利用できるデジタルインボイス・システムの構築を目指して、Peppol Authorityが進めるデジタルインボイスの標準仕様の策定に対し民間の立場から支援と協力をするを目的として活動します。また、現行の制度・仕組みからの移行可能性に配慮されたデジタルインボイス・システムの構築・普及を通じて、商取引全体のデジタル化と生産性向上に寄与することを目指し、活動します。

<https://www.eipa.jp/home>

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010年10月に設立されました。

『Concur Expense（経費精算・経費管理）』・『Concur Travel（出張管理）』・『Concur Invoice（請求書管理）』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AI を使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または SAP Concur ブログをご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

© 2025 SAP SE または SAP 関連会社。無断複写・転載を禁じます。この資料に関する使用条件、免責条項、開示、または制限については、www.sap.com/legal-notice の法的通知を参照してください。